

## 発刊のご挨拶

日本貸金業協会

会長 今井 三夫



このたび、平成30年度の協会活動についてご報告するとともに、関係資料及び公知情報などをお届けいたします。

貸金業界を見ますに、貸金業者数の減少に歯止めがかかり、貸付残高についても緩やかな増加基調にあります。一方、フィンテック等を活用した金融サービスの進展や、人口減少・高齢化など社会の環境の変化は、貸金業界における構造変化やビジネスモデルの再構築を一層加速させていくものと考えております。

「令和」という言葉には「美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味が込められています。円滑な資金供給を介し利用者の皆さまに寄り沿うことで、いかに時代が変化しようとも人々の事業活動や暮らしの豊かさに貢献できる業界であって欲しいと願っております。

大きな変化の中にある貸金業界ではありますが、本協会は、今後とも中立公正な立場で、新たな課題に的確に対応し、業界が社会の皆さまから弛みない信頼を得て持続的に発展することができるよう取り組みを進めて参ります。

今回発刊する報告書をご高覧いただき、資金需要者の利益の保護と、業界の健全な発展に向けた本協会の昨年度の取り組みについてご理解いただければ幸いです。

今後とも本協会に対するご支援とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。